

2014年薬学部第2問

1枚目/2枚

 数理
石井K

2 Oを原点とするxy平面上に円C: $x^2 + y^2 = r^2$ と放物線D: $y = \frac{1}{2}x^2 - t$ がある。ただし r と t はそれぞれ正の実数の定数とする。点(0, -55)から放物線Dに傾きが正の接線を引くとき、その接線の傾きは $3\sqrt{6}$ である。放物線D上には x 座標がそれぞれ $-4\sqrt{3}, 4\sqrt{3}$ である点P, Qがあり、円Cはこの2点P, Qを通る。このとき、

$$(1) t = \boxed{40} \boxed{41} \text{ である。}$$

$$(2) r = \boxed{42} \boxed{8} \text{ である。}$$

$$(3) \text{円Cと2線分OP, OQで囲まれる2つの扇形のうち, } \angle POQ \text{ が } \pi \text{ より小さい方の面積は } \frac{\boxed{6} \boxed{4}}{\boxed{45} \boxed{3}} \pi \text{ である。}$$

(4) 円Cと放物線Dで囲まれた図形のうち、

$$\begin{cases} x^2 + y^2 \geq r^2 \\ y \geq \frac{1}{2}x^2 - t \end{cases}$$

$$\text{で表される図形の面積は } \boxed{1} \boxed{4} \boxed{4} \sqrt{\boxed{49}} - \frac{\boxed{6} \boxed{4}}{\boxed{52}} \pi \text{ である。}$$

化直し: $3\sqrt{6}$

(1) Dと点(0, -55)から引いた接線の接点を $(s, \frac{1}{2}s^2 - t)$ とおく。

$$y' = x \text{ より, 接線は } y = s(x - s) + \frac{1}{2}s^2 - t$$

$$\text{すなわち, } y = sx - \frac{1}{2}s^2 - t$$

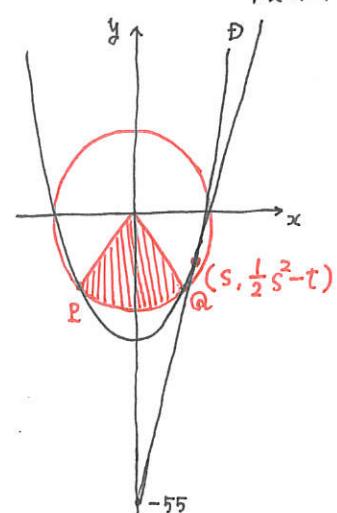
$$\text{これが } (0, -55) \text{ を通るので, } -55 = -\frac{1}{2}s^2 - t \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\text{また, 化直さは } 3\sqrt{6} \text{ より, } s = 3\sqrt{6} \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より, } t = 28 \quad //$$

$$(2) D: y = \frac{1}{2}x^2 - 28 \text{ より, } P(-4\sqrt{3}, -4)$$

$$\text{円Cは点Pを通るので, } (-4\sqrt{3})^2 + (-4)^2 = r^2 \quad r > 0 \text{ なり, } r = 8 \quad //$$



(3) 右の図より, $\angle POQ = 120^\circ$

$$\therefore s = \frac{1}{2} \cdot 8 \cdot 8 \cdot \frac{2\pi}{3} = \frac{64}{3}\pi \quad //$$

2枚目につづく



2014年薬学部第2問

2枚目/2枚



2 Oを原点とするxy平面上に円 $C: x^2 + y^2 = r^2$ と放物線 $D: y = \frac{1}{2}x^2 - t$ がある。ただし r と t はそれぞれ正の実数の定数とする。点(0, -55)から放物線 D に傾きが正の接線を引くとき、その接線の傾きは $3\sqrt{3}$ である。放物線 D 上には x 座標がそれぞれ $-4\sqrt{3}, 4\sqrt{3}$ である点P, Qがあり、円 C はこの2点P, Qを通る。このとき、

(1) $t = \boxed{40} \boxed{41}$ である。

(2) $r = \boxed{42}$ である。

(3) 円 C と2線分OP, OQで囲まれる2つの扇形のうち、 $\angle POQ$ が π より小さい方の面積は $\frac{\boxed{43} \boxed{44}}{\boxed{45}}\pi$ である。

(4) 円 C と放物線 D で囲まれた図形のうち、

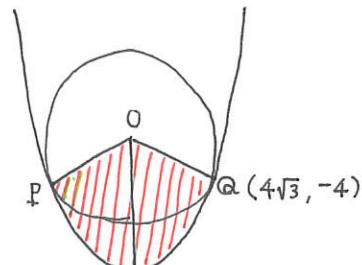
$$\begin{cases} x^2 + y^2 \geq r^2 \\ y \geq \frac{1}{2}x^2 - t \end{cases}$$

で表される図形の面積は $\boxed{46} \boxed{47} \boxed{48} \sqrt{\boxed{49}} - \frac{\boxed{50} \boxed{51}}{\boxed{52}}\pi$ である。

(4) 左の斜線部分の面積を S とすると。

図形はy軸に沿って対称なので、

$$\begin{aligned} S &= 2 \int_0^{4\sqrt{3}} -\frac{1}{\sqrt{3}}x - \left(\frac{1}{2}x^2 - 28\right) dx \\ &= 2 \left[-\frac{1}{2\sqrt{3}}x^2 - \frac{1}{6}x^3 + 28x \right]_0^{4\sqrt{3}} \\ &= 144\sqrt{3} \end{aligned}$$



$$OQ: y = -\frac{1}{\sqrt{3}}x$$

これら(3)で求めた部分を引けばよいので、

$$\underline{144\sqrt{3} - \frac{64}{3}\pi} //$$